

事業者排出量削減計画書制度に係る報告書提出様式における

再エネ電気の使用及び環境価値の活用 に係る項目の記入方法

2026年3月19日

セミナー事務局

再エネ電気の使用及び環境価値の活用に係る項目

区分	調達の種類	利用形態	番号
電気の使用	小売電気事業者から供給された電気	再エネ電気メニュー	①
		再エネ電気以外のメニュー	参考
	太陽光発電設備で発電した電気	自家消費（自己保有）	②
		売電（自己保有）	③
		PPA	④
		自営線	⑤
	託送	⑥	
環境価値の活用	非化石証書	非化石証書を直接購入	⑦
	グリーン電力証書	—	⑧

② 太陽光発電設備で発電した電気 自家消費

内訳書

【記入ルール①】青色のセルに必要事項を記入してください。
 【記入ルール②】赤色のセルは自動計算/自動記入のため、記入不要。

A 事業所等排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気

電気事業者名	契約メニュー	排出係数①(メー別)	排出係数②(直接入力)	実数値(千kWh)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				0.0

B 輸送車両排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気

電気事業者名	契約メニュー	排出係数①(メー別)	排出係数②(直接入力)	実数値(千kWh)
1				
2				
3				
4				
5				

■その他

電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1		
2		
3		
4		
5		
合計		0.0

■非化石エネルギー

種別	使用量	原油換算(kL)	二酸化炭素(t-CO2)
黒油	t		
木材	t		
木質廃材	t		
バイオエタノール	kl		
バイオチーゼル	kl		
バイオガス	千m3		
RDF	t		
RPF	t		
炭タイヤ	t		
炭プラスチック	t		
黒油	kl		
廃棄物ガス	千m3		
混合廃材	t		
水素	t		
アンモニア	t		
太陽熱	GJ		
その他(非化石熱)	GJ		
太陽光発電	千kWh		
バイオマス発電	千kWh		
その他(非化石電気)	千kWh		
合計		0.0	0.0

事業所等排出区分

燃料種別	単位	実数値	原油換算(千L)	CO2換算(千kg)
揮発油(ガソリン)	キロリットル			
灯油	キロリットル			
軽油	キロリットル			
A 重油	キロリットル			
液化石油ガス(LPG)	トン			
液化天然ガス(LNG)	トン			
都市ガス(CNGを含む)	千立方メートル			
産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水	メガジュール			
蒸気	メガジュール			
蒸気	千キロワット時	0.0	0.0	0.0
その他	千キロワット時	0.0	0.0	0.0
合計				0.0

輸送車両排出区分

燃料種別	単位	実数値	原油換算(千L)	CO2換算(千kg)
揮発油(ガソリン)	キロリットル			
灯油	キロリットル			
軽油	キロリットル			
液化石油ガス(LPG)	トン			
液化天然ガス(LNG)	トン			
都市ガス(CNGを含む)	千立方メートル			
蒸気	千キロワット時	0.0	0.0	0.0
その他	千キロワット時	0.0	0.0	0.0
合計				0.0

✓ 事業所の敷地内に設置した、自己保有の太陽光発電設備で発電した電気を事業所で使用する場合、「非化石エネルギー」の「太陽光発電」に自家消費量を入力

非化石電気	太陽光発電	10.0	千kWh	0.9	0.0
	バイオマス発電		千kWh		
	その他(非化石電気)		千kWh		
合計				0.9	0.0

③ 太陽光発電設備で発電した電気 売電

報告書

事業者排出量削減報告書

(都 道) 東京都 東京都 年 月 日							
報告書の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 報告書の氏名(法人にあっては、名称及び代表者)							
業種番号:							
主たる業種	細分類番号:						
事業者の区分	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計 画 期 間							
基本方針							
計画を推進するための体制							
温室効果ガスの排出量	温室効果ガスの排出量	基準年度	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	増減率	
	事業活動に伴う排出量						
	評価の対象となる排出量						
	業種に対する自己評価						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	増減率
重点的に実施する取組の実施状況	令和5年度						
	令和6年度						
	令和7年度						
具体的な取組及び措置の概要							
適宜における自己の自動車等を使用することを控えさせるための措置	措置の概要						
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価						
特殊の取組及び措置、再生可能エネルギーの利用その他の削減効果に関する取組	区 分	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	備 考		
	特殊の取組及び措置によるもの	トン	トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン			
	グリーン電力証書の購入によるもの	トン	トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの(クレジット等)	トン	トン	トン			
	合 計	0.0	0.0	0.0			
	その他						

- 該当する口には、しりぞきを入れてください。特定事業者以外で本年初めて事業を行う事業者の方は、しりぞきの記入は不要です。
- 「削減率」とは、統計第2次第1項に規定する統計基準である日本標準産業分類の報告率をいいます。
- 「基準年度」とは、計測期間の前年度又は計測期間の前3年度の事業実績に基づき排出の減少又は削減率の最も低いものをいいます。
- 「増減率」とは、基準年度と比較した計測期間の平均の増減又は削減の割合をいいます。

✓ 事業所の敷地内に設置した、自己所有の太陽光発電設備で発電した電気を他の者に供給する場合、供給量を削減量として計上できる

再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)
電気供給			100.0 kWh(キロワット時)
熱供給(産業用蒸気)			GJ(ギガジュール)
熱供給(産業用以外)			GJ(ギガジュール)

報告書の「再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの」に供給量を入力

再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)
電気供給			kWh(キロワット時)
熱供給(産業用蒸気)			GJ(ギガジュール)
熱供給(産業用以外)			GJ(ギガジュール)

グリーン電力証書の購入によるもの(非化石証書を含む、各年度の償却量)

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)
グリーン電力証書			kWh(キロワット時)
グリーン熱証書			GJ(ギガジュール)
非化石証書			kWh(キロワット時)

※グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度で認証されたCO2削減量

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)
グリーン電力証書			t-CO2
グリーン熱証書			t-CO2

超過削減量の総引(トン)

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)

※ 削減削減量の繰引を行う場合、繰引する量を記入してください。また、特記事項にも繰引について記載してください。

例) 「第四計測期間の超過削減量001-tCO2を、各年度の排出量から1001-tCO2として差し引く。」



削減量として計上できる量に上限あり

⑤ 太陽光発電設備で発電した電気 自営線

内訳書

結果ガス排出量内訳書 事業者名を入力してください。

【記入ルール①】青色のセルに必要事項を記入してください。
 【記入ルール②】赤色のセルは自動計算/自動転記のため、記入不要。

A 事業所等排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気
 電気事業者名 契約メニュー 排出係数の(CO2-別) 排出係数の(直接入力) 実数値(千kWh)

1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
合計				

■その他

電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1		
2		
3		
4		
5		
合計		0.0

■非化石エネルギー

種別	使用量	原油換算(kL)	二酸化炭素(t-CO2)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
合計		0.0	0.0

B 輸送車両排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気
 電気事業者名 契約メニュー 排出係数の(CO2-別) 排出係数の(直接入力) 実数値(千kWh)

1				
2				
3				
4				
5				
合計				0.0

■その他

電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1		
2		
3		
4		
5		
合計		0.0

✓ 事業所の敷地外に設置した、自己所有の太陽光発電設備で発電した電気を自営線により事業所へ供給して使用する場合、「その他」に入力

単位：t-CO2/千kWh

■その他

電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1 供給元(自営線)	0.000	100.0
2		

- 入力項目
- 供給元
 - ※「自営線」であることを併せて記入
 - 排出係数
 - 実数値(自営線の供給量)

⑥ 太陽光発電設備で発電した電気 託送

内訳書

結果ガス排出量内訳書 事業所名を入力してください。

【記入ルール①】青色のセルに必要事項を記入してください。
 【記入ルール②】赤色のセルは自動計算/自動転記のため、記入不要。

A 事業所等排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気

電気事業者名	契約メニュー	排出係数(α _{CO2} -別)	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
合計				0.0

B 輸送車両排出区分
 ■一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気

電気事業者名	契約メニュー	排出係数(α _{CO2} -別)	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1				
2				
3				
4				
5				
合計				0.0

その他

電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
1		
2		
3		
4		
5		
合計		0.0

■非化石エネルギー

種別	使用量	原油換算(kL)	二酸化炭素(t-CO2)
黒炭	t		
木炭	t		
木質燃料	t		
バイオエタノール	kl		
バイオディーゼル	kl		
バイオガス	千m3		
RDF	t		
RPF	t		
スクラップ	t		
2号油	kl		
2号油	千m3		
石炭	t		
シモニア	t		
石油熱	GJ		
その他(非化石熱)	GJ		
太陽光発電	千kWh		
バイオマス発電	千kWh		
その他(非化石電気)	千kWh		
合計		0.0	0.0

✓ 事業所の敷地外に設置した、自己保有の太陽光発電設備で発電した電気を自己託送により事業所へ供給して使用する場合、「その他」に入力

単位：t-CO2/千kWh

■その他		
電気事業者名など	排出係数(直接入力)	実数値(千kWh)
●●送配電株式会社(託送)	0.000	100.0
2		

- 入力項目
- 送配電事業者名など
 - ※「託送」であることを併せて記入
 - 排出係数
 - 実数値(託送による受電量)

⑦ 環境価値の活用 非化石証書

報告書

事業者排出量削減報告書

(都 府) 京都市長		年 月 日				
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事業所の所在地)		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名)				
報告番号:						
主たる業種	細分類番号:					
事業者の区分	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はロ <input type="checkbox"/> エ					
計画期間						
基本方針						
計画を推進するための体制						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	増減率
	事業活動に伴う排出の量	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)	(令和7年度)	
	評価の対象となる排出の量					
	業種に対する自己評価					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の目的とする業務の原単位	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	増減率
	事業活動に伴う排出の量	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)	(令和7年度)	
	評価の対象となる排出の量					
	業種に対する自己評価					
重点的に実施する取組の実施状況	取組の名称	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	備 考
		(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)	(令和7年度)	
具体的な取組及び措置の内容	令和5年度					
	令和6年度					
	令和7年度					
	措置の内容					
適宜における自己の自動車等を使用することを控えるために実施した措置	措置の内容					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価					
	区 分	第1年度	第2年度	第3年度	備 考	
		(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)		
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの活用その他の地球温暖化対策により削減した量	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン		
	建築資材の活用によるもの	トン	トン	トン		
	再生可能エネルギーを明した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン		
	グリーン電力証書の購入によるもの	トン	トン	トン		
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの(クレジット等)	トン	トン	トン		
合 計	0.0	0.0	0.0			
地球温暖化対策に関する社会貢献活動						
特記事項						

✓ 非化石証書を直接購入し、その環境価値を京都市内の事業所に割り当てている場合、京都市内に割り当てた環境価値を、削減量として計上できる。

グリーン電力証書等の購入によるもの (非化石証書を含む、各年度の償却量)

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	
グリーン電力証書				kWh(キロワット時)
グリーン熱証書				GJ(ギガジュール)
非化石証書			100.0	kWh(キロワット時)

再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	
電 力				kWh(キロワット時)
熱供給 (熱源別)				GJ(ギガジュール)
熱供給 (熱源別)				GJ(ギガジュール)

グリーン電力証書等の購入によるもの (非化石証書を含む、各年度の償却量)

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	
グリーン電力証書				kWh(キロワット時)
グリーン熱証書				GJ(ギガジュール)
非化石証書				kWh(キロワット時)

※グリーンエネルギーCO2削減制度で認証されたCO2換算量

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)	
グリーン電力証書				t-CO2
グリーン熱証書				t-CO2

超過削減量の取引(引)

	第1年度(令和5年度)	第2年度(令和6年度)	第3年度(令和7年度)

※ 超過削減量の取引を行う場合、権利する量を記入してください。
また、特記事項にも取引について記載してください。
例) 「第3計画期間の超過削減量000t-CO2を、各年度の削減量から100t-CO2ずつ取引する。」



京都市内に割り当てた量を示すエビデンスの提出が必要

⑧ 環境価値の活用 グリーン電力証書

報告書

事業者排出量削減報告書

(都 道 府 県) 京都市長		年 月 日				
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名)				
報告番号:						
主たる業種	細分類番号:					
事業者の区分	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はロ <input type="checkbox"/> エ					
計画期間						
基本方針						
計画を推進するための体制						
温室効果ガスの排出量	温室効果ガスの排出量の量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	増減率
	事業活動に伴う排出量の量	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)		
	評価の対象となる排出量の量					
減排に対する自己評価						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業活動に伴う排出量の原単位の指標	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	増減率
	事業活動に伴う排出量の量	(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)		
	評価の対象となる排出量の量					
減排に対する自己評価						
重点的に実施する取組の実施状況						備 考
具体的な取組及び措置の内容	令和5年度					
	令和6年度					
	令和7年度					
適宜における自己の自動車等を使用することを控えるために実施した措置	措 置 の 内 容					
上記の措置を実施した結果に対する自己評価						
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度	第2年度	第3年度	備 考	
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン		
	建築木材の利用によるもの	トン	トン	トン		
	再生可能エネルギーを明した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン		
	グリーン電力証書の購入によるもの	トン	トン	トン		
温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの(クレジット等)	トン	トン	トン			
合 計	0.0	0.0	0.0			
地球温暖化対策に関する社会貢献活動						
特記事項						

✓ グリーン電力証書を購入し、京都市市内で償却した場合は、償却量 (kWh) を入力

グリーン電力証書等の購入によるもの (非化石証書を含む、各年度の償却量)

	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)
グリーン電力証書			100.0 kWh(キワット時)
グリーン熱証書			GJ(ギガジュール)
非化石証書			kWh(キワット時)

✓ グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度で認証された場合は、認証されたCO₂換算量 (t-CO₂) を入力

※グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度で認証されたCO₂換算量

グリーン電力証書	0.1	t-CO ₂
グリーン熱証書		t-CO ₂

	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)
電気供給			
熱供給 (低炭素ガス)			
熱供給 (低炭素燃料)			

	第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)
グリーン電力証書			
グリーン熱証書			
非化石証書			

※グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度で認証されたCO₂換算量

グリーン電力証書			
グリーン熱証書			

経過削減量の索引 (t-CO₂)

第1年度 (令和5年度)	第2年度 (令和6年度)	第3年度 (令和7年度)

※ 削減削減量の索引を付す場合は、索引する値を記入してください。

また、特記事項にも索引について記載してください。

例 「第1計画期間の経過削減量000t-CO₂を、各年度の排出量から100t-CO₂ずつ差し引く。」



償却量を示すエビデンスの提出が必要

ご清聴ありがとうございました。

